

Q 4. 専門学校専門課程進学率

	合 計	一回目調査						二回目調査					
		現状よりかなり増える	現状よりやや増える	現状とほぼ変わらない	現状よりやや減る	現状よりかなり減る	無回答	現状よりかなり増える	現状よりやや増える	現状とほぼ変わらない	現状よりやや減る	現状よりかなり減る	無回答
	合 計	104	5	44	25	23	4	3	200	7	83	69	32
	性 別	100.0	4.8	42.3	24.0	22.1	3.8	2.9	100.0	3.5	41.5	34.5	16.0
	男	96	4	38	24	23	4	3	184	7	76	63	29
	女	100.0	4.2	39.6	25.0	24.0	4.2	3.1	100.0	3.8	41.3	34.2	15.8
		16	-	7	6	3	-	100.0	-	43.8	37.5	18.8	-
年 齢	20才代	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	2	-
	30才代	6	1	3	1	1	-	100.0	-	-	-	100.0	-
	40才代	100.0	16.7	50.0	16.7	16.7	-	100.0	9.1	27.3	45.5	18.2	-
	50才代	17	-	5	3	5	3	100.0	2.3	25.6	41.9	25.6	4.7
	60才代	14	1	5	4	4	-	100.0	5.4	37.8	37.8	13.5	5.4
	70才代	100.0	7.1	35.7	28.6	28.6	-	100.0	4.5	45.5	30.3	15.2	-
	80才代	40	2	14	11	10	1	100.0	3	30	20	10	-
	90才代	100.0	5.0	35.0	27.5	25.0	2.5	100.0	4.5	45.5	30.3	15.2	-
		23	1	16	5	1	-	100.0	-	24	9	2	1
		100.0	4.3	69.6	21.7	4.3	-	100.0	-	64.9	24.3	5.4	2.7
		2	-	1	-	50.0	-	100.0	-	-	100.0	-	-
		100.0	1	-	-	100.0	-	100.0	-	-	100.0	-	-

Q 4. 2010 年における「専門学校専門課程進学率（現役生のみ）」はどれくらいの水準か？



第1回調査結果 現状よりやや増える【42.3%】現状とほぼ変わらない【24.0%】  
現状よりやや減る【22.1%】

「現状よりやや増える」41.5%、「現状とほぼ変わらない」34.5%、「現状よりやや減る」16.0%の順になっている。比率構成は第1回調査と同じ傾向を示している。

<自由回答まとめ(1回目調査)>

Q 4. 2010 年の専門学校専門過程進学率（現役生のみ）の水準予測

Q 4-A. 予測の理由・根拠

〔現状より増えると思う理由〕

- ・就職のための資格取得が要求されるため。
- ・短大が減少するため。
- ・企業での即戦力に対応できるため。
- ・コンピュータ関連の知識を得ることを目的とした進学者が増大するため。
- ・社会の専門化が進むため。
- ・専門的な教育を行えない大学、短大への失望者が専門学校を目指すため。
- ・学校教育や学歴に対する考え方が多様化するため。

〔現状と変わらないと思う理由〕

- ・専門学校だけでは、社会の急激な変動に対応できないため。
- ・同じ資格を取れる教育過程なら、大学や短大の方が世間体が良いため。
- ・専門学校の授業料が高すぎるため。

〔現状より減ると思う理由〕

- ・これまで専門学校へ行っていた層が4年制大学へ進学するため。
- ・できれば大学へ行きたいという学力志向の風潮があるため。
- ・専門学校の数が減少するため。

Q 4-B. その結果、何が最も変わるか

〔現状より増えた場合〕

- ・社会人コースも増大する。
- ・職人的な専門家の、人数の増加と地位の向上。
- ・マルチメディアを利用した専門学校の増加。
- ・専門学校卒業者の能力水準の向上。
- ・専門学校卒業者の下級労働者化。

〔現状より減った場合〕

- ・学校数の大幅な減少。
- ・専門的技術者の不足。
- ・特色ある専門学校しか生き残れない。
- ・専門学校の生涯学習機関化。
- ・専門学校の倒産。